

令和7年度

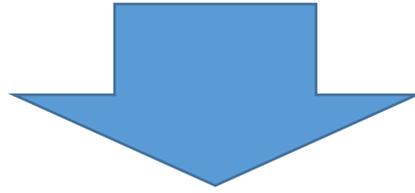
通信教育実施計画

新潟産業大学附属高等学校

通信制課程

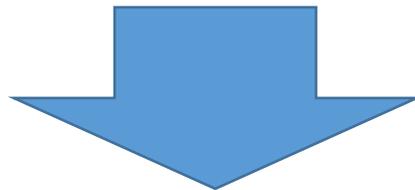
1 通信教育の方法

添削指導(レポート課題)	面接指導(スクーリング)	単位認定試験(テスト)
--------------	--------------	-------------



下記の条件を満たすことで高校を卒業することができます。

在籍期間が合計3年以上	修得単位数が 74単位以上	特別活動に30単位時間 以上参加
-------------	------------------	---------------------



卒業 (3月または9月に卒業できます)

*①必履修の教科、科目をすべて履修し、74単位以上修得すること

*②本校に3か月以上在籍し、10単位以上修得すること

2 教育課程表

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
国語	現代の国語	2	2	6	1	1	
	言語文化	2	2	6	1	1	
	論理国語	4	4	1 2	2	2	
	古典探究	4	4	1 2	2	2	
	漢字基礎	学校設定	2	6	1	1	
	実用国語	学校設定	2	6	1	1	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
地理歴史	地理総合	2	2	6	1	1	
	地理探究	3	3	9	2	1	
	歴史総合	2	2	6	1	1	
	日本史探究	3	4	1 2	2	2	増単
	柏崎探究	学校設定	2	6	1	1	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
公民	公共	2	2	6	1	1	
	政治・経済	2	2	6	1	1	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
数学	数学Ⅰ	3	3	9	2	1	
	数学Ⅱ	4	4	1 2	2	2	
	数学Ⅲ	3	3	9	2	1	
	数学A	2	2	6	1	1	
	数学B	2	2	6	1	1	
	キャリア数学	学校設定	2	6	1	1	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
理科	科学と人間生活	2	2	6	4	4	
	生物基礎	2	2	6	4	4	
	化学基礎	2	2	6	4	4	
	物理基礎	2	2	6	4	4	
	生物	4	4	1 2	7	9	
	化学	4	4	1 2	7	9	
	物理	4	4	1 2	7	9	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
保健体育	体育 1	3	3	3	6	9	
	体育 2	2	2	2	4	6	
	体育 3	2	2	2	4	6	
	保健	2	2	6	1	1	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
芸術	音楽 I	2	2	6	4	4	
	美術 I	2	2	6	4	4	
	書道 I	2	2	6	4	4	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
外国語	英語コミュニケーション I	3	3	9	5	7	
	英語コミュニケーション II	4	4	12	7	9	
	論理・表現 I	2	2	6	4	4	
	英語探究	学校設定	1	3	2	2	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
家庭	家庭基礎	2	2	6	2	2	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
情報	情報 I	2	2	6	2	2	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間 1	1	1	3	1		
	総合的な探究の時間 2	1	1	3	1		
	総合的な探究の時間 3	1	1	3	1		

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴	備考
体験学習	体験学習 I	学校設定	1	1	1		
	体験学習 II	学校設定	2	2	2		
	体験学習 III	学校設定	2	2	2		

3 年間行事計画

		4月			5月			6月			
		新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場		
1	火				1	木				1	日
2	水				2	金				2	月
3	木	新年度オリエンテーション			3	土	祝日：憲法記念日			3	火
4	金				4	日	祝日：みどりの日			4	水
5	土	【オンライン】令和7年度入学式			5	月	祝日：こどもの日			5	木
6	日				6	火	振替休日			6	金
7	月				7	水	新入生ガイダンス			7	土
8	火				8	木				8	日
9	水				9	金				9	月
10	木				10	土	オンライン説明会			10	火
11	金				11	日			スクーリング①	11	水
12	土				12	月	休校日			12	木
13	日				13	火				13	金
14	月				14	水				14	土
15	火				15	木				15	日
16	水				16	金				16	月
17	木				17	土				17	火
18	金				18	日			スクーリング①	18	水
19	土	オンライン説明会			19	月	休校日			19	木
20	日				20	火				20	金
21	月				21	水				21	土
22	火				22	木				22	日
23	水	レポート第1期分_公開開始			23	金	オンラインHR10:30~11:20 レポート第2期分_公開開始			23	月
24	木				24	土				24	火
25	金	オンラインHR10:30~11:20			25	日			スクーリング①	25	水
26	土				26	月	休校日			26	木
27	日				27	火				27	金
28	月				28	水				28	土
29	火	祝日：昭和の日			29	木				29	日
30	水				30	金				30	月
					31	土					
備考					備考					備考	

		7月					8月					9月		
		新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場
1	火				1	金				1	月			
2	水				2	土			スクーリング④	2	火			
3	木				3	日		スクーリング④	スクーリング④	3	水			
4	金	新入生ガイダンス			4	月	スクーリング④			4	木			
5	土				5	火	スクーリング④			5	金	新入生ガイダンス		
6	日				6	水	新入生ガイダンス			6	土	オンライン説明会		
7	月				7	木				7	日	スクーリング⑤		スクーリング⑤
8	火				8	金				8	月	休校日		
9	水				9	土				9	火			
10	木				10	日				10	水			
11	金				11	月	祝日：山の日			11	木			
12	土	オンライン説明会			12	火	夏季休暇			12	金			
13	日		スクーリング③		13	水	夏季休暇			13	土			
14	月	休校日			14	木	夏季休暇			14	日			
15	火				15	金	夏季休暇			15	月	祝日	スクーリング⑤	祝日
16	水				16	土				16	火	休校日		
17	木				17	日				17	水			
18	金				18	月				18	木			
19	土				19	火				19	金			
20	日			スクーリング③	20	水				20	土	9月卒業検定試験		9月卒業検定試験
21	月	祝日：海の日			21	木				21	日	9月卒業検定試験	9月卒業検定試験	9月卒業検定試験
22	火				22	金	オンラインHR10:30~11:20			22	月			
23	水				23	土	オンライン説明会			23	火	祝日	9月卒業検定試験	祝日
24	木				24	日		スクーリング④		24	水			
25	金	オンラインHR10:30~11:20			25	月	休校日			25	木			
26	土				26	火				26	金	オンラインHR10:30~11:20		
27	日	スクーリング③			27	水				27	土	【オンライン】令和7年度9月卒業式		
28	月	休校日			28	木				28	日			
29	火				29	金	レポート提出締切日（9卒生用）			29	月			
30	水				30	土				30	火			
31	木				31	日								
備考					備考					備考		特別活動実施予定（3年）		

		10月					11月					12月		
		新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場
1	水				1	土				1	月	休校日		
2	木				2	日				2	火			
3	金	新入生ガイダンス			3	月	祝日	スクーリング⑦	祝日	3	水			
4	土	オンライン説明会			4	火	新入生ガイダンス			4	木			
5	日		スクーリング⑧		5	水				5	金	新入生ガイダンス		
6	月	休校日			6	木				6	土			
7	火				7	金				7	日		スクーリング⑩	
8	水				8	土				8	月	休校日		
9	木				9	日		スクーリング⑩		9	火			
10	金				10	月	休校日			10	水			
11	土				11	火				11	木			
12	日				12	水				12	金			
13	月	祝日：スポーツの日			13	木				13	土	オンライン説明会		
14	火				14	金				14	日		スクーリング⑪	
15	水				15	土	オンライン説明会			15	月	休校日		
16	木				16	日				16	火			
17	金	保護者会14:00～15:00			17	月				17	水			
18	土				18	火				18	木			
19	日			スクーリング⑫	19	水				19	金			
20	月	休校日			20	木				20	土			
21	火	進級面談開始～1/8まで			21	金	オンラインHR10:30～11:20			21	日	スクーリング⑬		
22	水				22	土				22	月	休校日		
23	木				23	日	祝日：勤労感謝の日	スクーリング⑭		23	火			
24	金	オンラインHR10:30～11:20			24	月	振替休日	スクーリング⑭		24	水			
25	土				25	火	休校日			25	木			
26	日	スクーリング⑬ オープンスクール			26	水				26	金	オンラインHR10:30～11:20		
27	月	休校日			27	木				27	土			
28	火				28	金				28	日			
29	水				29	土	スクーリング⑮			29	月	冬期休暇		
30	木				30	日	スクーリング⑮			30	火	冬期休暇		
31	金									31	水	冬期休暇		
備考					備考					備考		特別活動実施予定 (10/1までの入学者)		

令和7年度 managara highschool 年間スケジュール

		1月			2月			3月				
		新潟会場	東京会場	大阪会場	新潟会場	東京会場	大阪会場	新潟会場	東京会場	大阪会場		
1	木	祝日：元日			1	日	単位認定試験	スクーリング予備回	1	日		
2	金	冬期休業			2	月	休校日			2	月	スクーリング予備回
3	土				3	火			3	火	スクーリング予備回	
4	日	スクーリング予備回			4	水	新入生ガイダンス			4	水	スクーリング予備回
5	月	休校日			5	木			5	木	スクーリング予備回	
6	火				6	金			6	金	スクーリング予備回 単位認定試験予備回	
7	水				7	土				7	土	オンライン説明会
8	木				8	日	スクーリング予備回	スクーリング予備回/単位認定試験	8	日		
9	金	新入生ガイダンス			9	月	休校日			9	月	
10	土				10	火			10	火		
11	日	スクーリング予備回	スクーリング予備回		11	水	祝日：建国記念の日			11	水	
12	月	スクーリング予備回	スクーリング予備回	祝日	12	木			12	木		
13	火	進級面談終了			13	金			13	金		
14	水				14	土	オンライン説明会	単位認定試験	14	土	【オンライン】令和7年度卒業式	
15	木				15	日		単位認定試験	15	日		
16	金	レポート提出締切日 (12/1までの入学者)			16	月	休校日			16	月	
17	土	オンライン説明会			17	火			17	火		
18	日				18	水			18	水		
19	月				19	木			19	木	オンラインHR10:30~11:20	
20	火				20	金	オンラインHR10:30~11:20			20	金	祝日：春分の日
21	水				21	土				21	土	
22	木				22	日	単位認定試験予備回	単位認定試験予備回	22	日		
23	金	オンラインHR10:30~11:20			23	月	単位認定試験開始			23	月	
24	土				24	火	1次_卒業・成績判定会			24	火	
25	日		単位認定試験	スクーリング予備回	25	水			25	水		
26	月	休校日			26	木			26	木		
27	火				27	金	レポート提出締切 (2/1までの入学者)			27	金	
28	水				28	土				28	土	
29	木								29	日		
30	金								30	月		
31	土	単位認定試験							31	火		
備考					備考				備考	特別活動実施予定 (2/1までの入学者)		

4 教科指導計画（シラバス）

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	現代の国語	2単位	6	1	東京書籍 新編現代の国語	

学習の目標

言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とする。その上で、実社会に必要な知識や技能、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自ら発信する力も向上させ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。

添削指導	学習内容
第1回	作品「こそそめスープ」、「ルリボシカミキリの青」について
第2回	作品「未来をつくる想像力」、「水の東西」について
第3回	作品「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」、「無彩の色」について
第4回	作品「鍋洗いの日々」、「森で染める人」、「真夏のひしこ漁」について
第5回	作品「美しさの発見」、「りんごのほっぺ」について
第6回	作品「不思議な拍手」、「真の自立とは」について

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 「思考ツール・発想の方法」 2. 本時の学習 （1）目標 ・内容への理解を深め、試行する。

メディア視聴	学習内容
1時間	作品「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」塚谷裕一 作品「森で染める人」鈴木菜々子 作品「美しさの発見」高階秀爾 作品「不思議な拍手」細間宏通

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などについて、叙述を基に的確に捉え、趣旨や要点を把握している。
主体的に学習に取り組む態度	進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめている。日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	言語文化	2単位	6	1	東京書籍 新編言語文化	

学習の目標

言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とする。その上で、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	作品「さくらさくらさくら」、「とんかつ」について
第2回	詩歌（短歌）（俳句）、作品「冬が来た」について
第3回	作品「羅生門」、「夢十夜」について
第4回	作品「今日はそのことをなさんと思へど『徒然草』」、和歌について
第5回	作品「芥川『伊勢物語』」、「木曾の最期『平家物語』」について
第6回	漢文訓読の基本、作品「春望」、「論語」について

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 作品「うつくしきもの（枕草子）」 2. 本時の学習 （1）目標 ・本文を読解し、内容への理解を深める。

メディア視聴	学習内容
1時間	羅生門

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言論文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	「読み」「書き」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付け、他者との関わりを通して伝える力を高めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者と関わり、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。

3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	論理国語	4単位	1 2	2	東京書籍 新編論理国語	

学習の目標	
言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とする。その上で、実社会に必要な知識や技能、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自ら発信する力も向上させ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。	

添削指導	学習内容
第1回	作品「対話とは何か」、「世界をつくり替えるために」について
第2回	作品「少女たちの『ひろしま』、『ふしぎ』ということ」について
第3回	作品「学ぶことと人間の知恵」、「ラップトップ抱えた『石器人』」について
第4回	作品「思考の肺活量」、「安心について」について
第5回	作品「弱肉強食は自然の摂理か」、「複数の『わたし』」について
第6回	作品「はじめに『言葉』がある」、「楽に働くこと、楽しく働くこと」について
第7回	作品「最初のペンギン」、「豊かさと生物多様性」について
第8回	作品「物語の外から」、「カフェの開店準備」について
第9回	作品「鏡としてのアンドロイド」、「ロボットが隣人になるとき」について
第10回	作品「言葉は『ものの名前』ではない」、「科学的『発見』とは」について
第11回	作品「知識における作者性と構造的性」、「もう一つの知性」について
第12回	作品「ホンモノのおカネの作り方」、「未来のありか」について

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 「論理とは何か 1.2（論理の力）」 2. 本時の学習 （1）目標 ・内容への理解を深め、試行する。
2時間	1. 単元（題材）名 「論理とは何か 3.4（論理の力）」 2. 本時の学習 （1）目標 ・内容への理解を深め、試行する。

メディア視聴	学習内容
1時間	学ぶことと人間の知恵
2時間	ホンモノのおカネの作り方

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能が身についている。
思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、国語に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会にかかわろうとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	古典探究	4単位	12	2	東京書籍 新編古典探究	

学習の目標
言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とする。その上で、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。

添削指導	学習内容
第1回	作品「小野篁、広才のこと『宇治拾遺物語』」、「大江山の歌『十訓抄』」、「花は盛りに『徒然草』」について
第2回	作品「ゆく河の流れ『方丈記』」、「富士の山『竹取物語』」、和歌（小倉百人一首より）について
第3回	作品「馬のはなむけ『土佐日記』」、「門出『更級日記』」、「壇ノ浦の合戦『平家物語』」について
第4回	作品「蛸売りの八助『世間胸算用』」、「幼子さと『おらが春』」、「雪のいと高う降りたるを『枕草子』」について
第5回	作品「初冠『伊勢物語』」、「姨捨『大和物語』」、「道真の左遷『大鏡』」について
第6回	作品「能因と節信『袋草紙』」、「出で映えすべき歌のこと『無名抄』」、「光源氏の誕生『源氏物語』」について
第7回	近世の俳句、作品「去来抄」、「倭建命『古事記』」について

第8回	作品「蛇足」、唐詩、作品「雑説」について
第9回	作品「四面楚歌『史記』」、「出藍誉」、「侵官之害」について
第10回	作品「水魚之交『十八史略』」、「鼓腹撃壤」、「燕雀安知鴻鵠之志哉」について
第11回	古体詩、作品「長恨歌」、「刎頸之交」について
第12回	作品「不忍人之心」、日本の漢詩文、作品「所争不在米塩」について
面接指導	学習内容
1時間	<p>1. 単元（題材）名 作品「小話—四編」</p> <p>2. 本時の学習 （1）目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢文の表現に触れ、訓読法や句形、漢文独特の語句や表現の知識を身につける。 ・ 本文を読解し、内容への理解を深める。
2時間	<p>1. 単元（題材）名 作品「竹取物語」</p> <p>2. 本時の学習 （1）目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古文の表現に触れ、文法や古文独特の語句の知識を身につける。 ・ 本文を読解し、内容への理解を深める。

メディア視聴	学習内容
1時間	壇ノ浦の合戦『平家物語』
2時間	能因と節信『袋草紙』

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言論文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方について、自分の思いや考えを広げて深めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度が見られる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語 (学校設定科目)	漢字基礎	2単位	6	1	東京書籍 精選言語文化	

学習の目標

読む力・書く力の基盤となる大切な知識を認識しながら、漢字を活用する力、文や文章の中で漢字を適切に使う力を養うことを目標とする

添削指導	学習内容
第1回	読み書きの演習。熟語の構成について。
第2回	読み書きの演習。熟語の構成について。同じ読みの漢字を訂正する。
第3回	読み書きの演習。対義語・類義語。部首の選択問題。
第4回	読み書きの演習。対義語・類義語。部首の選択問題。
第5回	読み書きの演習。熟語の選択問題。同じ読みの漢字を訂正する。
第6回	読み書きの演習。熟語の構成について。同じ読みの漢字を訂正する。

面接指導	学習内容
1時間	読み書きの演習、熟語の演習、対義語・類義語について。

メディア視聴	学習内容
1時間	読み書きの演習、熟語の構成について。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	正しい漢字の使い方を知り、会話や本にある漢字の「読み・書きの力」がある
思考・判断・表現	学習した知識を利用して、より多くの言葉を言語化することで、深く考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	漢字の使い方（読み・書き）を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語 (学校設定科目)	実用国語	2単位	6	1	東京書籍 精選現代の国語	

学習の目標	
普段何気なく使用している日本語を正しく理解、使用できるようにすることで、読み解く力を養い、コミュニケーション力向上を目標とする。	
添削指導	学習内容
第1回	漢字の演習、尊敬語の演習。
第2回	漢字の演習、敬語使った文章問題、言葉の意味を理解する、慣用句について。
第3回	漢字の演習、主語を文節で答える問題、言葉の並び替え問題。
第4回	類義語、対義語、動詞の未然形と活用の種類について。
第5回	漢字の演習、類義語、対義語、慣用句について。
第6回	漢字の演習、敬語を使った文章問題、言葉の活用について。

面接指導	学習内容
1時間	漢字の演習、敬語の活用について、類義語・対義語について。

メディア視聴	学習内容
1時間	漢字の演習、敬語、類義語、対義語、慣用句について。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	正しい日本語の使い方を知り、会話や本にある言葉の「読み解く力」がある。
思考・判断・表現	考えたことを、より多くの言葉で言語化することで、深く考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	地理総合	2単位	6	1	東京書籍 地理総合	

学習の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みを理解、調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。

添削指導

学習内容

第1回	地球上の位置や範囲のとらえ方、地図の種類と用途、国内や国家の結び付きの変容
第2回	生活文化の多様性と国際理解、生活文化と自然環境（地形）
第3回	生活文化と自然環境（気候）、生活文化と産業
第4回	地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題
第5回	食料問題、居住・都市問題、民族問題、持続可能な社会の実現を目指して
第6回	自然環境の特色をふまえた防災への取り組み

面接指導

学習内容

1時間	文化の地域的多様性について
-----	---------------

メディア視聴

学習内容

1時間	地図の経度・緯度。経度と時差について。
-----	---------------------

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地理情報システム（GIS）を考察し、活用に必要な技能を身に付けることができる。 ・諸課題の解決を目指した各国の取り組みや国際協力の必要性を理解することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活文化の多様性を知ること、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。 ・地球規模の自然環境にかかわる諸課題の現状や要因、解決に向けた取り組みが理解できる。 ・日本が抱える地理的な諸課題の解決や未来について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的・歴史的な知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	地理探究	3単位	9	2	東京書籍 地理探究	

学習の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。

添削指導	学習内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・地理探求へのステップ ・地形を作る力（プレートの運動とさまざまな境界線、変動帯の地形について） ・さまざまな地形（安定陸塊、河川がつくるもの、海岸と海で見られるもの）
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・気温と降水量、及び風の流れと降水量の分布 ・水の循環、植生と土壌の分布 ・ケッペンの気候区分について
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形と自然災害について ・世界の環境問題 ・産業の発展と社会的分業
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業、及び食料問題について ・エネルギーと鉱産資源について
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・資源、エネルギー問題 ・工場の立地と工業地域の変容について ・第三次産業について
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・交通、通信について ・貿易と経済連携、観光について ・人口について
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・人口問題、村落、都市について ・居住、都市問題 ・生活文化の地域性について
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・民族、言語、宗教、民族問題について ・現代の国家と領土問題 ・地域区分の意義と方法
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア、東南アジア、南アジアについて
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアと中央アジアについて ・北アフリカとサハラ以南アフリカについて

	・ヨーロッパについて
第11回	・ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカについて
第12回	・オセアニア、北極、南極について ・日本の地理的諸課題 ・持続可能な国土像の研究

面接指導	学習内容
1時間	生活文化の地域性
2時間	アジアについて（東・東南・南・西・中央）

メディア視聴	学習内容
1時間	地形を作る力、気温と降水量、世界の環境問題、民族、言語、宗教、民族問題、現代の国家と領土問題

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地理情報システム（GIS）を考察し、活用に必要な技能を身に付けることができる。 ・諸課題の解決を目指した各国の取り組みや国際協力の必要性を理解することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活文化の多様性を知ることで、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。 ・地球規模の自然環境にかかわる諸課題の現状や要因、解決に向けた取り組みが理解できる。 ・日本が抱える地理的な諸課題の解決や未来について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的・歴史的な知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	歴史総合	2単位	6	1	東京書籍 新選歴史総合	

学習の目標
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、近

現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する情報を調べまとめる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	近代化について、世界と日本の開国。
第2回	国民国家と明治維新。
第3回	国際秩序の変化、第一次世界大戦と大衆社会。
第4回	経済危機と第二次世界大戦。
第5回	グローバル化、冷戦と世界経済。
第6回	世界秩序の変容と日本。

面接指導	学習内容
1時間	産業革命のはじまり

メディア視聴	学習内容
1時間	第一次世界大戦の展開

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・文書・図像などの諸資料を活用して情報を読み取ることができる。 ・日本・世界の歴史から、日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追求・解決しながら、歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し、表現することができる。 ・各時代にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりしながら読み解き、主体的に考察し、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的・歴史的知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	日本史探究	4単位	1 2	2	東京書籍 日本史探究	

学習の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理や世界史と関連付けながら総合的に理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する情報を効果的に調べまとめる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・先史社会の生活と文化 ・歴史資料と先史、古代の展望 ・律令国家の形成と古代文化の展開
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・律令国家の形成と白鳳文化及び平城京と天平文化 ・摂関政治と貴族文化
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・中世社会の成立及び中世社会の展開 ・中世の日本と世界、中世社会の展開
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・武家社会の広がり と 国際交流
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・近世社会の形成 ・江戸幕府と大名、朝廷
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の確立
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・近世社会の成熟と幕藩体制の動揺
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・近代社会の幕開け、及び近現代社会の展開
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・国民国家と資本主義の成立 ・日露戦争後の社会と政治について
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・両大戦間期の日本 ・国際社会の中の日本
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・占領と改革 ・国際社会への復帰と高度経済成長
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア情勢の変化と経済大国日本 ・新しい国際秩序と日本の課題

面接指導	学習内容
1時間	モンゴルの襲来と社会の変貌
2時間	江戸時代のくらし

メディア視聴	学習内容
1時間	律令国家の形成と古代文化の展開、白鳳文化及び平城京と天平文化、摂関政治と貴族文化、中世社会の成立及び中世社会の展開
2時間	近世社会の形成、江戸幕府と大名、朝廷、幕藩体制の確立、近世社会の成熟と幕藩体制の動揺、近代社会の幕開け、及び近現代社会の展開

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・遺物、文書、画像などの諸資料を活用して情報を読み取りまとめることができる。 ・近現代の地域、日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代の社会の展開について事象の意味や意義を理解し、それぞれがどのような時代であるのか理解することができる。 ・持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定することができる。 ・様々な諸資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるか考察し表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの生活や社会の変化について資料より情報を読み取り、現代のグローバル化について考察し、課題解決に向けて自ら取り組むことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史 (学校設定科目)	柏崎探究	2単位	6	1	東京書籍 詳解歴史総合	

学習の目標

柏崎の自然や文化の魅力とそれを語る人々の生き方を学び、さらにキャリア教育として柏崎の良さに気づき、未来の柏崎を切り拓く人材、活性化を図る人材を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	柏崎市の立地、人口について
第2回	柏崎市長、有名な人物について
第3回	人口推移、エネルギーについて
第4回	市章、シンボルマークについて
第5回	柏崎刈羽原子力発電所について、
第6回	SDGs、柏崎市の制度について

面接指導	学習内容
1時間	柏崎市の概要

メディア視聴	学習内容
1時間	柏崎刈羽原子力発電所について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	柏崎地域の情報を読み取り、地球的な視野から地理的事象の規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解することができる。
思考・判断・表現	柏崎地域の地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所などに着目して、概念などを活用し、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論を深めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う姿勢がみられる。また、自らの学習についても調整する姿が見られる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
公民	公共	2	6	1	東京書籍 公共	
学習の目標						
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、現代の諸課題を考察し、理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付けるようにする。						

添削指導	学習内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期と自己形成の課題の「青年期の特徴について」 ・現代の世界と宗教の「三大世界宗教について」
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加の「私たちの民主政治」 ・民主政治と政治参加の「国会のしくみと役割」「内閣のしくみと役割」
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・法や規範の意義と役割の「法と社会規範の役割」 ・市民生活と私法の「市民生活と法」 ・国民の司法参加の「司法のしくみと役割」
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済と市場の「私たちと経済」 ・市場経済における働きの「金融のしくみと働き」 ・財政の役割と持続可能な社会保障制度の「財政の働き」

第5回	<ul style="list-style-type: none"> 働くことの意義と職業選択の「働くということ」 国際社会のルールとしくみの「国際社会の成り立ち」 国際社会と平和主義の「日本の平和主義」
第6回	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化する国際経済の「貿易のしくみ」 グローバル化する国際経済の「グローバル化と今日の国際経済」 グローバル化する国際経済の「国際経済の諸課題」

面接指導	学習内容
1時間	国際社会の成立

メディア視聴	学習内容
1時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共的な空間をつくる私たち—社会の中の自己 <ul style="list-style-type: none"> (1) 現代社会に生きる青年 (2) 社会的な関係の中で生きる人間

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができている。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を深めようとしている。

【単位修得認定基準】

- ① 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ② 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- ③ 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
公民	政治・経済	2単位	6	1	東京書籍 政治・経済	

学習の目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民主政治の基本原則、 ・ 日本国憲法の制定と基本原則、及び基本的人権の保障 ・ 憲法や法律の新しい動きや争点について
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立法と行政、及び裁判所と司法 ・ 地方自治と現代政治の特質と課題について
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資本主義経済と現代の経済の仕組み ・ 国民所得と経済成長、金融・財政の仕組みと課題について
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本経済の発展と現状、福祉社会と日本経済の課題 ・ 労働問題と社会保障について
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代日本の課題 ・ 国際政治と日本の諸問題について
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貿易・国際収支・国際経済体制 ・ 世界経済の現状と課題 ・ 国際社会の諸課題について

面接指導	学習内容
1時間	地方自治

メディア視聴	学習内容
1時間	民主政治の基本原則、日本国憲法、立法と行政、労働問題と社会保障について。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法律や政治体制など社会における基本的な知識を身に付け、日々の生活に関連付けていくことができる。 ・ グラフを読み取り、経済の移り変わりや世界情勢の流れを読み解くことができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代における政治・経済の課題について、一つの要点からだけでなく広い視野を持って考えることができる。 ・ 民主主義の本質を捉えて考え、現代における労働問題や環境問題などの諸課題を良識のある公民として判断し、自己表現できるようになる。

主体的に学習に取り組む態度	・日々の生活の中で、法律や政治制度などの変化や、その社会情勢に対応し、環境問題などの社会問題の解決のために自ら考え、主体的に行動することができる。
---------------	---

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学 I	3 単位	9	2	東京書籍 新数学 I	

学習の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、数と式、図形と軽量、二次関数及びデータ分析についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	文字と式
第2回	実数
第3回	方程式と不等式
第4回	2次関数とそのグラフ
第5回	2次関数の値の変化
第6回	三角比
第7回	三角比の応用
第8回	データの分析
第9回	集合と論証

面接指導	学習内容
1 時間	1. 単元名 「2次関数の最大値・最小値」 2. 本時の学習 （1）目標 2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。
2 時間	1. 単元名

	「三角比の相互関係」 2. 本時の学習 (1) 目標 三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。
--	---

メディア視聴	学習内容
1時間	◆ 方程式と不等式 (1) 1次方程式を解く (2) 不等式を解く (3) 2次方程式を解く

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を既習の知識と関連付け、より深く理解するとともに、日常生活や社会事象の問題発見・解決に向けての基礎となる技能が身についている。
思考・判断・表現	様々な事象を数理的に捉え、数学的な推論によって問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考え、物事の特徴や事象の変化を抽象し簡潔・明瞭に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	数学を学ぶ楽しさを実感し粘り強く考え、数学を日常生活や社会事象に活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学Ⅱ	4単位	1 2	2	東京書籍 新数学Ⅱ	

学習の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、色々な式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分についての基本的な概

念や原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	式の計算
第2回	2次方程式
第3回	高次方程式
第4回	座標と直線の方程式
第5回	円の方程式・軌跡と領域
第6回	三角関数
第7回	加法定理
第8回	指数関数
第9回	対数関数
第10回	微分係数と導関数
第11回	導関数の応用
第12回	積分

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元名 「等式の証明」 2. 本時の学習 (1) 目標 左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考力を養う。
2時間	1. 単元名 「不等式の証明」 2. 本時の学習 (1) 目標 左辺と右辺の差をとることで、不等式を証明し、論理的な思考力を養う。また、相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係について理解し、それを用いて不等式を証明することができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	◆2次方程式 (1) 複素数の計算 (2) 2次方程式の解
2時間	◆加法定理 (1) 加法定理の応用 (2) 弧度法

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	計算方法について理解を深め、数学的に問題解決することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 問題の本質を理解し、表現することができる。 解決の過程を振り返り、事象の関係性について考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	粘り強く柔軟に考え、数学の楽しさを改めて認識することができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学Ⅲ	3単位	9	2	東京書籍 新編数学Ⅲ	

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、極限、微分法及び積分法についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	関数
第2回	数列の極限
第3回	関数の極限
第4回	微分法・いろいろな関数の導関数
第5回	関数の増減
第6回	微分のいろいろな応用
第7回	不定積分
第8回	定積分
第9回	面積・体積・長さ

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元名 「導関数」 2. 本時の学習

	(1) 目標 導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察することができるようにする。
2時間	1. 単元名 「接線の方程式」 2. 本時の学習 (1) 目標 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めることができるようにする。

メディア視聴	学習内容
1時間	(1) 関数と極限 (2) 微分 (3) 微分の応用 (4) 積分とその応用

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 概念や原理・法則などを体系的に理解することができる。 既習の知識と関連付け、より深く技能を身に着けることができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな関数の性質に着目し、事象を数学的に考察することができる。 問題解決の過程や結果を振り返り発展的に考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に数学を活用し、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとするすることができる。 「数学Ⅱ」の内容より深い内容を取り扱い、全体を通じて質的な向上ができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学A	2単位	6	1	東京書籍 新数学A	

学習の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理で

きる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	場合の数
第2回	確率
第3回	平面図形（1）
第4回	平面図形（2）
第5回	約数と倍数
第6回	整数の性質の応用

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元名 「ユークリッドの互除法」 2. 本時の学習 (1) 目標 整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。

メディア視聴	学習内容
1時間	◆確率 (1) 確率の計算 (2) 余事象の確率

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、現実の世界の事象を数学と結び付け数学的に解釈し、表現・処理する技能を身につけることができる。
思考・判断・表現	・数学の性質について思考を深め、自らそれを見出し論理的に考察し、適切な活用方法を判断することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用し、粘り強く考え数学的根拠に基づいて問題解決をすることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学 B	2 単位	6	1	東京書籍 新編数学 B	

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第 1 回	数列・いろいろな数列
第 2 回	漸化式と数学的帰納法
第 3 回	確率分布
第 4 回	正規分布
第 5 回	統計的な推測
第 6 回	数学と社会生活

面接指導	学習内容
1 時間	1. 単元名 「いろいろな数列」 2. 本時の学習 (1) 目標 等差数列、等比数列を理解したうえで、階差数列をはじめとしたいろいろな数列の一般項や和を求める力を養う。

メディア視聴	学習内容
1 時間	◆数列 (1) 数列 (2) 等差数列 (3) 等差数列の和 (4) 等比数列 (5) 等比数列の和

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・事象の変化に注目し、問題発見・解決のための基礎をなす技能を身に付けることができる。
思考・判断・表現	・規則性に着目し、事象を数学的に表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたたり、粘り強く柔軟に考え、問題解決のためにさらに数学を活用しようとするすることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクリーング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学 (学校設定科目)	キャリア数学	2単位	6	1	東京書籍 数学 I Essence	

学習の目標

基礎的な知識の習得と技能を図り、数学的な見方や考え方の良さを認識し、活用できるようにすることを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	計算問題、及び多項式の演習
第2回	多項式の展開と因数分解。立体の表面積と体積。
第3回	方程式の演習。文章問題から方程式を求める。
第4回	比例・反比例、変化の割合について。変域から最小値を求める。
第5回	確率・円の性質・平面図形の角について。
第6回	相似な図形、三角形と四角形、相似比・面積比・体積比について。

面接指導	学習内容
1時間	計算問題、多項式の展開と因数分解について。

メディア視聴	学習内容
1時間	多項式の展開と因数分解、方程式の演習。比例・反比例、変化の割合。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	数学の基本的な計算を身につけ、活用することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的かつ論理的に考察することができる。 ・目的に応じて適切に判断することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとするすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	科学と人間生活	2単位	6	4	東京書籍 科学と人間生活	

学習の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの微生物 ・生態系における微生物のはたらき ・窒素と微生物のはたらき ・水中の微生物のはたらき ・発酵 ・医薬品と微生物
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの視覚 ・血糖濃度を調節するしくみ ・免疫のしくみ ・遺伝子とそのはたらき
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・金属の性質 ・金属の製錬とさびを防ぐ方法 ・プラスチックについて ・繊維の種類 ・体に必要な栄養素 ・脂質の性質 ・タンパク質の性質 ・リサイクルについて
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・光の進み方とその見え方 ・光の波としての性質 ・目に見える光と色の見え方 ・電磁波の利用
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・熱運動

	<ul style="list-style-type: none"> ・熱容量と比熱および熱の伝わり方 ・エネルギーについて ・エネルギーの有効利用
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽と月がつくる暦 ・太陽の放射エネルギー，および太陽がつくる大気と海洋の循環 ・移り変わる地球の景観，山地や低地のでき方，および太陽のエネルギーがつくる景観 ・地震による災害，および火山による災害

面接指導	学習内容
1時間	微生物とその利用
2時間	体を守る免疫のしくみ
3時間	生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき
4時間	金属の性質とその再利用

メディア視聴	学習内容
1時間	水中の微生物のはたらき
2時間	遺伝子とそのはたらき
3時間	体に必要な栄養素
4時間	太陽と月がつくる暦

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・自然と人間生活とのかかわり及び化学技術と人間生活とのかかわりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身に着けることができる。
思考・判断・表現	・観察・実験などを行い、人間生活と連づけて科学的に探究する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	生物基礎	2単位	6	4	東京書籍 新編生物基礎	

学習の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	生物の多様性と共通性、及び生物とエネルギー
第2回	遺伝情報とDNA、遺伝情報とタンパク質の合成
第3回	ヒトの体を調整するしくみ
第4回	免疫の仕組み
第5回	植生と遷移
第6回	生態系と生物の多様性

面接指導	学習内容
1時間	生物の多様性と共通性
2時間	生物とエネルギー
3時間	免疫のはたらき
4時間	植生と遷移

メディア視聴	学習内容
1時間	生体とATP、酵素の働き
2時間	生物と遺伝子、及びDNAの構造
3時間	免疫のしくみ、及び免疫の応用とさまざまな疾患
4時間	生態系と生物の多様性

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解することができる。
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通じて問題を見出し考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・生物に対する興味関心を持っている。 ・生物や生物現象に対して主体的に探究しようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	化学基礎	2 単位	6	4	東京書籍 新編化学基礎	

学習の目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うなどを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第 1 回	物質の成分と構成元素。物質の三態について。
第 2 回	原子の構造。電子配置と周期表。
第 3 回	化学結合と物質の分類について。
第 4 回	物質量と化学反応式、及び化学反応式の表す量的関係について。
第 5 回	酸と塩基、及び中和反応と塩の生成。
第 6 回	酸化還元反応について。

面接指導	学習内容
1 時間	物質量
2 時間	化学反応式
3 時間	酸と塩基
4 時間	酸化還元反応

メディア視聴	学習内容
1 時間	物質の成分、物質の構成元素
2 時間	イオンとイオン結合、化学結合と物質分類
3 時間	酸と塩基
4 時間	酸化と還元、酸化剤と還元剤

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	化学や科学技術が人間生活にどのようにかかわっているか理解することができる。
思考・判断・表現	化学と科学技術との関わりにおける問題を見出し、その解決方法を考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・化学に対する興味・関心を持っている。 ・主体的、意欲的にこらからの化学との関わり方について認識を深める。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全 6 回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4 単位時間以上出席することが必要。

3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	物理基礎	2単位	6	4	東京書籍 新編物理基礎	

学習の目標

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	直線運動の世界（運動・速度・投射）
第2回	力と運動の法則（慣性・作用・反作用の法則）
第3回	力学的エネルギー（運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー）
第4回	温度と熱、及び熱の移動と保存
第5回	波（横波と縦波・定在波・音波）
第6回	電気、エネルギーとその利用について。

面接指導	学習内容
1時間	運動の表し方
2時間	力学的エネルギー
3時間	電気と磁気
4時間	エネルギーとその利用

メディア視聴	学習内容
1時間	等速直線運動、合成速度と相対速度
2時間	慣性の法則、「運動の変化」と「力」
3時間	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー
4時間	電力と電力量

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	物体の運動と様々なエネルギーについて理解している。
思考・判断・表現	物理的な事物・現象に対して科学的に探究できる。
主体的に学習に取り組む態度	・物理的な事物・現象に対する興味関心を持っている。 ・これからの物理的な事物、現象との関わり方について主体的、意欲的に探究を行う。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	生物	4単位	12	7	東京書籍 生物	

学習の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	生物の共通性と多様性、遺伝的変異について
第2回	多様な遺伝子変異をもたらす有性生殖、及び種分化
第3回	生物の系統と進化、人類の出現と変遷
第4回	細胞を構成する成分（生体膜、細胞・タンパク質の構造）、生命現象とタンパク質
第5回	代謝とエネルギー（呼吸・発酵・光合成について）
第6回	DNAの構造と複製、遺伝子情報の流れと変化について
第7回	原核生物・真核生物の遺伝子発現、及び動物の形と調節遺伝子の発現
第8回	遺伝子を扱う技術、及び遺伝子や細胞を扱う技術の課題
第9回	刺激の需要から反応への流れ、ニューロンの興奮（伝導と伝達）、効果器
第10回	植物の環境反応について（被子植物の生殖と発生、環境要因の影響）
第11回	個体群と生物群集、及び生物群集の成り立ちと多種の共存
第12回	生物多様性と人間社会の変化

面接指導	学習内容
1時間	生命の起源と細胞の進化
2時間	細胞と物質
3時間	呼吸の反応経路と反応の場
4時間	光合成
5時間	遺伝情報の流れ
6時間	ニューロンの興奮
7時間	動物の行動

メディア視聴	学習内容

1 時間	生命の起源と細胞の進化
2 時間	遺伝子の変化と進化のしくみ
3 時間	代謝とエネルギー
4 時間	遺伝子情報とその発現
5 時間	遺伝子を扱う技術
6 時間	動物の行動
7 時間	植物の環境反応
8 時間	生態系と人間生活
9 時間	生物の進化

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・原則を理解することができる。
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通じて問題を見出し考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・生物に対する興味関心を持っている。 ・生物や生物現象に対して主体的に探究しようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	化学	4 単位	1 2	7	東京書籍 化学 vol.1/2	

学習の目標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	① 物質の状態 ② 気体の性質 ③ 蒸気圧曲線 ④ 固体の融点と粒子間にはたらく分子間力や化学結合の大きさ ⑤ ファンデルワールス力 ⑥ 理想気体について

第2回	<ul style="list-style-type: none"> ① 溶解の性質 ② 固体の構造 ③ 希薄溶液の性質 ④ さまざまな物質の溶解について ⑤ ブラウン運動について ⑥ 融点について
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ① 反応とエンタルピー変化について ② 化学反応式と反応エンタルピー ③ 状態変化に伴うエンタルピー変化 ④ 中和エンタルピーについて ⑤ 光合成と光エネルギー，化学エネルギーの関係について
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ① 電池の原理 ② ダニエル電池の構造 ③ 電気分解について ④ ファラデーの電気分解の法則 ⑤ 電気分解における反応について ⑥ 燃料電池の特徴と，燃料と生成物について ⑦ アルミニウムと電気分解
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ① 反応の速さ，反応速度を変える条件 ② 反応のしくみ ③ 反応の速さについて ④ 可逆反応と化学平衡 ⑤ 反応速度を変える条件とその理由 ⑥ 触媒のはたらき ⑦ 可逆反応における平衡状態について
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ① 平衡の移動 ② 電離平衡 ③ 塩の水への溶解について ④ ハーバー・ボッシュ法 ⑤ 触媒の性質と，平衡の移動 ⑥ 共通イオン効果
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ① 非金属元素の単体と化合物 ② 典型金属元素の単体と化合物 ③ 塩素を得るための装置 ④ オストワルト法 ⑤ 石灰水に二酸化炭素を通じると，白濁する現象
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ① 遷移元素の単体と化合物 ② 混合溶液からそれぞれのイオンを分離するための実験操作 ③ 遷移元素と典型元素との比較 ④ 錯イオン

	⑤ 硫化水素と銀イオン，亜鉛イオン，ナトリウムイオンとの反応
第9回	① 有機化合物の特徴と構造 ② 炭化水素 ③ メタンハイドレート ④ シストランス異性体 ⑤ アルキンの構造について
第10回	① アルコールとエーテル，アルデヒドとケトン ② カルボン酸，エステル ③ 油脂，セッケン ④ エタノール ⑤ アルデヒドの酸化に関する性質 ⑥ カルボン酸の，酸の強さについて
第11回	① 芳香族炭化水素について ② フェノール類と芳香族カルボン酸について ③ 芳香族アミンとアゾ化合物について ④ 高分子化合物 ⑤ ジエチルエーテル溶液 ⑥ アゾ化合物や染料について ⑦ 芳香族炭化水素の反応について ⑧ フェノール類とアルコールの類似点について
第12回	① 単糖類と二糖類，多糖類について ② アミノ酸，タンパク質 ③ 合成高分子化合物 ④ 酵素の最適温度について ⑤ プラスチックのリサイクルについて

面接指導	学習内容
1時間	物質の状態
2時間	気体の性質
3時間	電池と電気分解
4時間	水溶液中の化学平衡
5時間	有機化合物の特徴と構造
6時間	アルコールと関連化合物
7時間	芳香族化合物

メディア視聴	学習内容
1時間	物質の融点・沸点と化学結合・分子間力の関係
2時間	溶解のしくみ、及び固体や気体の溶解度
3時間	発熱反応と吸熱反応の反応エンタルピー、化学反応式と反応エンタルピー
4時間	化学平衡、及び化学平衡の法則について

5時間	アルカリ金属, アルカリ土類金属, アルミニウムの単体および化合物の性質
6時間	遷移元素の性質と特徴や, 典型元素との違い
7時間	アルコールの構造, 分類, 性質, 反応
8時間	アミノ酸の分類, 構造, 性質, 反応
9時間	糖類の分類, 構造, 反応について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理・原則を理解することができる。
思考・判断・表現	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通じて問題を見出し考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・化学に対する興味関心を持っている。 ・主体的に化学的な事象にかかわり、それらに対する気づきから課題設定と解決を図ることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	物理	4単位	12	7	東京書籍 物理	

学習の目標

物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通じて、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	加速度、重力、剛体、相対速度
第2回	力積と運動量, はね返り係数, 回転運動
第3回	単振動, ケプラーの法則, 万有引力やそれらを応用した宇宙速度
第4回	気体の性質 (気体分子の運動と状態方程式)、熱力学第1法則と熱力学第2法則
第5回	波の伝わり方、音の性質とドップラー効果
第6回	光の伝わり方・回折と干渉、レンズと鏡
第7回	静電気、電場と電位、コンデンサー
第8回	電流、電気抵抗、半導体

第9回	電流が作る磁場（磁界）、ローレンツ力について
第10回	電磁誘導と電磁波
第11回	電子と光、X線、波動性と粒子性について
第12回	原子の構造、原子核、核反応と核エネルギー

面接指導	学習内容
1時間	平面内の運動
2時間	円運動
3時間	万有引力
4時間	音
5時間	光
6時間	電場と電位
7時間	電流

メディア視聴	学習内容
1時間	運動量
2時間	気体分子の運動
3時間	波の伝わり方
4時間	光
5時間	電流
6時間	電磁誘導と電磁波
7時間	電子と光
8時間	原子と原子核
9時間	核反応と核エネルギー

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	物理的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解することができる。
思考・判断・表現	物理現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成して予想をしたり、仮説を立てたりして科学的に探究できる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・物理的な事物・現象に対する興味関心を持っている。 ・これからの物理的な事物、現象との関わり方について主体的、意欲的に探究を行う。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	体育1	3単位	3	6	大修館 現代高等保健体育	

学習の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体と捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境

面接指導	学習内容
1時間 2時間	1. 体づくり運動（スポーツテスト） 2. 本時の学習 (1) 目標 運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができる。
3時間 4時間	1. 陸上競技 2. 本時の学習 (1) 目標 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身につけることができる。
5時間 6時間	1. 球技（卓球・バドミントン） 2. 本時の学習 (1) 目標 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	スポーツの始まりと変遷

2時間	オリンピックとパラリンピックの意義
3時間	スポーツが経済に及ぼす効果
4時間	スポーツと環境
5時間	陸上競技
6時間	水泳競技
7時間	器械運動
8時間	球技（テニス）
9時間	球技（ソフトテニス）

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を理解しているか。 ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解しているか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を活用し、技能向上につなげることができる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫することができる。 ・運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	公正、協力、責任、参画などの態度を身に付けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に6単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	体育2	2単位	2	4	大修館 現代高等保健体育	

学習の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体と捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツにおける技術と体力 ・スポーツにおける技術と戦術 ・技能の上達過程と練習

第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な動きのメカニズム ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全の確保
-----	---

面接指導	学習内容
1時間 2時間	1. 体づくり運動（スポーツテスト） 2. 本時の学習 (1) 目標 運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができる。
3時間 4時間	1. 球技（卓球・バドミントン） 2. 本時の学習 (1) 目標 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	スポーツの学び方
2時間	球技（バスケットボール）
3時間	球技（ハンドボール）
4時間	球技（卓球）
5時間	球技（バドミントン）
6時間	剣道

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を理解しているか。 ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解しているか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を活用し、技能向上につなげることができる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫することができる。 ・運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	公正、協力、責任、参画などの態度を身に付けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。

3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	体育3	2単位	2	4	大修館 現代高等保健体育	

学習の目標	
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体と捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目標とする。</p>	

添削指導	学習内容
第1回	生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ
第2回	スポーツを推進する取り組み 豊かなスポーツライフの創造

面接指導	学習内容
1時間 2時間	<p>1. 体づくり運動 (スポーツテスト)</p> <p>2. 本時の学習</p> <p>(1) 目標</p> <p>運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができる。</p>
3時間 4時間	<p>1. 球技 (卓球・バドミントン)</p> <p>2. 本時の学習</p> <p>(1) 目標</p> <p>勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。</p>

メディア視聴	学習内容
1時間	運動・スポーツの学び方
2時間	豊かなスポーツライフの設計
3時間	球技 (サッカー)
4時間	球技 (ラグビー)
5時間	球技 (バレーボール)

6 限界	球技（ソフトボール）・柔道
------	---------------

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を理解しているか。 ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解しているか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を活用し、技能向上につなげることができる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫することができる。 ・運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	公正、協力、責任、参画などの態度を身に付けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	保健	2単位	6	1	大修館 現代高等保健体育	

学習の目標
保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	「現代社会と健康」 ・健康の考え方と成り立ち・私たちの健康のすがた・生活習慣病の予防と回復・がんの原因と予防・がんの治療と回復・運動と健康・食事と健康・休養、睡眠と健康・喫煙と健康・飲酒と健康・薬物乱用と健康
第2回	「現代社会と健康」 ・精神疾患の特徴・精神疾患の予防・精神疾患からの回復・現代の感染症・感染症の予防・性感染症、エイズとその予防・健康に関する意思決定、行動選択・健康に関する環境づくり
第3回	「安全な社会生活」

	・事故の現状と発生要因・安全な社会の形成・交通における安全・応急手当の意義とその基本・日常的な応急手当・心肺蘇生法
第4回	「生涯を通じる健康」 ・ライフステージと健康・思春期と健康・性意識と性行動の選択・妊娠、出産と健康・避妊法と人工妊娠中絶・結婚生活と健康・中高年期と健康
第5回	「生涯を通じる健康」 ・働くことと健康・労働災害と健康・健康的な職業生活 「健康を支える環境づくり」 ・大気汚染と健康・水質汚濁、土壌汚染と健康・環境と健康にかかわる対策・ごみの処理と上下水道の整備
第6回	「健康を支える環境づくり」 ・食品の安全性・食品衛生にかかわる活動・保健サービスとその活用・医療サービスとその活用・医薬品の制度とその活用・さまざまな保健活動や社会的対策・健康に関する環境づくりと社会参加

面接指導	学習内容
1時間	1. 健康に関する意思決定・行動選択 2. 本時の学習 (1) 目標 意思決定・行動選択に影響を与える要因や、健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。

メディア視聴	学習内容
1時間	健康の考え方と成り立ち・生活習慣病の予防と回復など

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解することができ、その技能も獲得することができる。
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	健康の保持増進について理解し、明るく豊かで活力ある生活を目指す姿が見られる。積極的に話し合いに参加し、自他の課題解決に取り組む姿勢がある。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
芸術	書道 I	2 単位	6	4	東京書籍 書道 I	

学習の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	書写から書道へ 楷書、行書、配列、用具・用材、姿勢のそれぞれの基本
第2回	漢字の成り立ちと変遷 古典に基づく学習 楷書「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」
第3回	行書「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」
第4回	草書「真草千字文」 隸書「曹全碑」 篆書「泰山刻石」
第5回	仮名の書「蓬萊切」「高野切第三種」「関戸本古今和歌集」
第6回	漢字仮名交じりの書 用具・用材による表現 生活に広げた書 篆刻・落款

面接指導	学習内容
1 時間	1. 単元（題材）名 書写から書道へ 2. 本時の学習 （1）目標 ・楷書、行書、配列、用具・用材、姿勢のそれぞれの基本を確認し、書写から書道への転換を意識し、導入を学ぶ。
2 時間	1. 単元（題材）名 漢字の成り立ちと変遷 楷書 2. 本時の学習 （1）目標 ・漢字の成り立ちから書体の変遷を学ぶ。 ・臨書を行う上で、楷書の筆の運びや配列を身につける。
3 時間	1. 単元（題材）名 仮名の書 2. 本時の学習 （1）目標 ・臨書を行う上で古典に基づいた練習により、行書の筆の運びや配列を身につける。

4時間	1. 単元（題材）名 生活に広げた書 2. 本時の学習 (1) 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で相手や目的を意識して文字を書くことを身につける。 ・現代においても書が生活の中に息づいていることを意識する。
-----	---

メディア視聴	学習内容
1時間	漢字の成立と変遷、古典に基づく学習
2時間	行書の特徴、隸書の特徴
3時間	漢字仮名交じりの所の変遷
4時間	変体仮名、連綿

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や用途に即した効果的な表現を理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 ・書の変遷や歴史、古典作品などの特徴を理解している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えることができる。 ・書の伝統と文化の意味を考えて、古典の書体や書風に即した用筆・運筆・字形・構成を理解している。 ・生活や社会における書の効用を理解している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・感性を高め、書の伝統と文化に親しむことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
芸術	美術Ⅰ	2単位	6	4	光村図書 美術1	

学習の目標
美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	絵画・彫刻1 さまざまな画材、葛飾北斎について、パブロ・ピカソについて、技法や用具の扱いについて
第2回	絵画・彫刻2 絵画・彫刻の作家や作品について、技法や用具の扱いについて
第3回	絵画・彫刻3 絵画・彫刻の作家や作品、技法について、技法や用具の扱いについて
第4回	デザイン1 作家や作品について、文字のデザインや色について
第5回	デザイン2 ル・コルビュジェについて、デザインの歴史について、色について
第6回	映像メディア表現 映像メディア表現の作家や作品について、映像メディア表現の用具の扱いについて、カメラの機能について

面接指導	学習内容
1時間	デッサンの描き方と基礎技法
2時間	着彩画（人工物の描写）
3時間	着彩画（自然物の描写）
4時間	着彩画（自然物の描写）

メディア視聴	学習内容
1時間	諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝について
2時間	鳥獣人物戯画 甲巻について
3時間	水墨画のさまざまな技法について
4時間	色の対比、色の同化について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す事ができる。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が養われている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
芸術	音楽I	2単位	6	4	教育出版 音楽I Tutti	

学習の目標

音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	楽曲の世界～独唱の魅力～ 楽曲が持つ曲想や歌詞の内容や楽曲の背景について
第2回	音～日本の響き・世界の声～ 日本及び世界の民謡の旋律や、声の音色の特徴、楽曲の文化的・歴史的背景について
第3回	西洋音楽の歴史とその発展 声や楽器の音色の特徴と表現との関わりを感じ取り、楽曲についての解釈
第4回	舞台芸術の世界 オペラミュージック・歌舞伎などの特徴と、文化的・歴史的背景について
第5回	合唱の響きを求めて 合唱活動に触れ、歌詞の内容や曲想、調和と表現について
第6回	和楽器のしらべ（篠笛） 篠笛の音色や奏法の特徴・表現について

面接指導	学習内容
1時間	声に出して歌おう！
2時間	楽器に親しもう！
3時間	グループで工夫して自分たちのアンサンブルを作ろう！
4時間	合唱！

メディア視聴	学習内容
1時間	校歌・世界に一つだけの花について
2時間	ソーラン節・日本の民謡と芸能について
3時間	アヴェマリア・西洋音楽史について
4時間	ミュージカル「ライオンキング」について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を音楽で表すために必要な知識・技能を身につけている。
思考・判断・表現	音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値などについて考えたりし、表現意図を明確にくみ取ったり、音楽や演奏の価値を見出して鑑賞したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、音楽文化の継承、発展、創造に寄与する態度が養われている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3単位	9	5	東京書籍 ALL Aboard! English Communication I	

学習の目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、資質・能力を一体的に育成することを目標とする。聞くことについては、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようになる。読むことについては、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようになる。話すこと（やり取り）については、日常的话题について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。話すこと（発表）については、日常的话题について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。書くことについては、日常的话题について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

添削指導	学習内容
------	------

第1回	「過去形」 be 動詞・一般動詞 「進行形」 現在進行形・過去進行形
第2回	「助動詞」 can、will
第3回	「to 不定詞」 名詞・副詞・形容詞の働き
第4回	「動名詞」 目的語などになる、前置詞の後ろにくる
第5回	「受け身」 by…を使う場合、by 以外を使う場合
第6回	「比較表現」 ～よりも… (比較級)、いちばん～ (最上級)、 ～と同じくらい… (原級)
第7回	「現在完了形」 経験、継続、完了
第8回	「名詞を後ろから説明する分詞」 現在分詞、過去分詞
第9回	「関係代名詞」 人について説明を加える who 人以外の物について説明を加える which

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元「Breakfast around the World」 「Australia' s Cute Quokkas」 「過去形」 be 動詞、一般動詞 2. 本時の学習 (1) 目標 Be 動詞と一般動詞の違いがわかる
2時間	1. 単元「Breakfast around the World」 「Australia' s Cute Quokkas」 「進行形」 現在進行形、過去進行形 2. 本時の学習 (1) 目標 現在形、過去形と現在進行系、過去進行形の違いを学ぶ
3時間	1. 単元「A Train Driver in Sanriku」 「助動詞」 can、will 2. 本時の目標 (1) 助動詞の働きを学ぶ
4時間	1. 単元「A Miracle Mirror」 「to 不定詞」 2. 本時の目標 (1) to 不定詞はどのような働きをするのかについて学ぶ
5時間	1. 単元「Learning from the Sea」 「動名詞」 2. 本時の目標 (1) 動名詞の働きについて学ぶ (2) to 不定詞と動名詞の違いについて学ぶ

メディア視聴	学習内容
1時間	◆Warm-Up 1 アルファベット

	<p>(1) 内容 英語のアルファベットを使ってスーパーマーケットの食材を選ぶ</p> <p>◆Warm-Up 2 教室で使う表現</p> <p>(1) 内容 授業で用いる表現を学ぶ</p> <p>◆Warm-Up 3 辞書の使い方 / 疑問詞</p> <p>(1) 内容 英語の辞書の使い方を学び、単語を調べる</p>
2時間	<p>◆Lesson 1 Breakfast around the World</p> <p>(1) 内容 単語</p> <p>◆Lesson 2 Australia's Cute Quokkas</p> <p>(1) 内容 英語の発音</p> <p>◆Lesson 3 A Train Driver in Sanriku</p> <p>(1) 内容 助動詞を用いた丁寧な表現</p>
3時間	<p>◆Lesson 4 A Miracle Mirror</p> <p>(1) 内容 to不定詞の3つの働き(名詞・副詞・形容詞)について学ぶ それらを使って英文が書ける</p>
4時間	<p>◆Lesson 5 Learning from the Sea</p> <p>(1) 内容 動名詞の働きを学ぶ 文型について学ぶ</p>
5時間	<p>◆Reading 1 Short Stories in English</p> <p>(1) 内容 英語のイントネーションについて学ぶ</p> <p>(2) 内容 疑問文に Yes、No で答える</p> <p>(3) 内容 英語の強弱</p> <p>(4) 内容 英語のスペルと発音の関係について学ぶ</p>
6時間	<p>◆Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period</p> <p>(1) 内容 好きな絵について英語で述べることができる。</p> <p>(2) 内容 受動態(受け身)形と意味を学ぶ by以外を使う受動態(受け身)の形を学ぶ</p>

	<p>◆Lesson 7 A Diary of Hope</p> <p>(1) 内容 比較表現を用いて英語で述べることができる。</p> <p>(2) 内容 関心のある人物について、英語で説明することができる。</p>
7時間	<p>◆Lesson 8 A Door to New Life</p> <p>(1) 内容 現在完了形を用いて英語で述べることができる。</p> <p>(2) 内容 関心のある人物について、英語で説明することができる。</p>

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・学習した表現を活用し、相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使っている。 ・自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使おうとしている。 ・自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に5単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4単位	12	7	東京書籍 ALL Aboard! English Communication II	

学習の目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、資質・能力を一体的に育成することを目標とする。聞くことについては、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようになる。読むことについては、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようになる。話すこと（やり取り）については、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく

話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。話すこと（発表）については、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。書くことについては、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	「関係代名詞」 what 「～すること、～するもの」
第2回	「比較表現」 more … than 「～よりも…」 (比較級) the most … in [of] 「～の中でいちばん…」 (最上級)
第3回	「it の用法」 It is … (for -) to ~ 「(―にとって) ～することは…です」 It is … that ~ 「～ということは…です」
第4回	「間接疑問文」 be 動詞の場合：(疑問詞＋主語＋be 動詞) 一般動詞の場合：(疑問詞＋主語＋一般動詞)
第5回	「to 不定詞を含む表現」 want＋目的語 A＋to … 「A に～してもらいたい」 ask＋目的語 A＋to … 「A に～するように頼む」 tell＋目的語 A＋to … 「A に～するように言う」
第6回	「江戸時代を舞台にした怪談を読み、情景や登場人物の心情を読み取る」 「文法のまとめ」 間接疑問文 to 不定詞を含む表現 動詞の形と「時」の関係
第7回	「動詞の目的語になる if 節」 wonder＋if 「…だろうかと思う」 ask＋人＋if … 「…かどうか(人)に尋ねる」
第8回	「関係副詞」 where 「場所」について説明を加える when 「時」について説明を加える
第9回	「知覚動詞」 知覚動詞＋目的語 A＋動詞の原形 「A が…するのを～する」 知覚動詞＋目的語 A＋動詞の-ing 形 「A が…しているのを～する」
第10回	「使役動詞」 make＋目的語 A＋動詞の原形 「A に…させる」 let ＋目的語 A＋動詞の原形 「A に…させておく(あげる)」 have＋目的語 A＋動詞の原形 「A に…してもらう」
第11回	「分詞構文」 ~ing 「…しながら」 ~ing 「…のとき」「…すると」
第12回	「朗読劇の結末を考えて読み、それを演じて発表する」

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元「A Colorful Island」 「関係代名詞」 what 2. 本時の学習 (1) 目標 関係代名詞「what」が「～すること、～するもの」という名詞の働きをすることを学ぶ

2時間	1. 単元「With the Beatles」 「比較表現」 more、the most 2. 本時の学習 (1) 目標 比較級、最上級
3時間	1. 単元「Wild Men」 「it の用法」 2. 本時の学習 (1) 目標 It を用いた文形を学ぶ。
4時間	1. 単元「Little Hero」 「関節疑問文」 2. 本時の学習 (1) 目標 「関節疑問文」 疑問詞を含んだ疑問文がほかの文の一部になるときの語順について学ぶ。
5時間	1. 単元「Special Makeup in Kabuki」 「to 不定詞を含む表現」 2. 本時の学習 (1) 目標 「動詞と to 不定詞の間に目的語を必要とする動詞」について学ぶ。
6時間	1. 単元「Seeds for Future Generations」 「動詞の目的語になる if 節」 2. 本時の学習 (1) 目標 「～かどうか」という意味を表す if 節について学ぶ。
7時間	1. 単元「Over the Wall」 「関係副詞」 2. 本時の学習 (1) 目標 「場所」や「時」などについて説明を加える働きをする関係副詞について学ぶ。

メディア視聴	学習内容
1時間	人を励ます表現について学習する。
2時間	「私の友人のうちの一入」という表現を学ぶ。
3時間	「テストで悪い点を取る」という表現を学ぶ。
4時間	人を励ます英文を日本語で理解できる。
5時間	自分の好きな場所について、英語で述べることができる。

6時間	関係副詞について学ぶ。
7時間	関係代名詞について学ぶ。
8時間	外国人旅行客との会話文を理解できる。
9時間	海外の観光地についての魅力を学ぶ。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・英語の特徴やきまりを理解し、それに基づき一定の支援を活用しながら適切な文を作ることができる。
思考・判断・表現	・話し手や書き手の意図を的確にとらえ、一定の支援を活用しながら情報を整理しまとめることができる。 ・話し手や書き手の意図を的確にとらえ、一定の支援を活用しながら自分なりの考えを伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・日常的话题や社会的な話題について、自分の意見を伝えようとしたり、相手の意見を理解しようとするなど、積極的にコミュニケーションを図ることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	論理・表現 I	2単位	6	4	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression I	

学習の目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと（やり取り・発表）、書くことの3つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、資質・能力を一体的に育成することを目標とする。話すこと（やり取り）については、日常的话题について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。話すこと（発表）については、日常的话题について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。書くことについては、日常的话题について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	1. 料理について「褒める」、「勧める」、「断る」などの表現について学ぶ。 2. 「提案する」、「依頼する」、「道順を説明する」などの表現について学ぶ。

	3. 「身近な人を紹介する」、「注意を引く」などの表現について学ぶ。
第2回	1. 体調について「伝える」、「尋ねる」「指示・アドバイスをする」などの表現について学ぶ。 2. 「描写する」、「相槌を打つ」などの表現について学ぶ。 3. 「希望を述べる」、「理由を述べる」などの表現について学ぶ。
第3回	1. 「誘う」、「誘いを受ける」、「誘いを断る」などの表現について学ぶ。 2. 「状況を説明する」、「手助けを申し出る」、「助言・提案する」、「感謝を伝える」などの表現について学ぶ。 3. 映画や本について、「あらすじを要約する」、「登場人物などを紹介する」、「感想や批評を述べる」などの表現について学ぶ。
第4回	1. 相手に対して「謝る」、「許す」、「励ます」などの表現について学ぶ。 2. 「共感を述べる」、「残念な気持ちを述べる」、「解決策を提案する」などの表現について学ぶ。 3. 「要望や主張を述べる」、「理由を述べる」などの表現について学ぶ。
第5回	1. 「理由を述べる」、「例を挙げる」などの表現について学ぶ。 2. 「相手の意見に反駁する」、「相手の意見を引用する」などの表現について学ぶ。 3. 「出来事を描写する」、「経験をもとにアドバイスする」などの表現について学ぶ。 4. 「ルールや手順を順序立てて説明する」、などの表現について学ぶ。
第6回	1. 「事実と意見を区別して述べる」、「文化や習慣を説明する」などの表現について学ぶ。 2. 「利点と欠点を述べる」、「話題を発展させる」、「話題を変える」などの表現について学ぶ。 3. 「主張する自分の主張について理由を説明する」、「理由を要約する」などの表現について学ぶ。 4. 「人の発言を直接引用する」、「条件を出して意見を述べる」、「説得する」などの表現について学ぶ。

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元 Lesson 1 初めての食事 「褒める」、「勧める」、「断る」表現 2. 本時の学習 (1) 目標 料理を褒めたり、おかわりを勧めるといったやり取りをロールプレイングで演じることができる。
2時間	1. 単元 Lesson 2 道に迷う 「提案する」、「依頼する」、「道順を説明する」表現 2. 本時の学習 (1) 目標 道に迷っている、説明するやり取りをロールプレイングで演じることができる。

3時間	1. 単元 Lesson 3 人物紹介 「身近な人を紹介する」、「注意を引く」表現 2. 本時の学習 (1) 目標 身近な人について紹介するスピーチを作成し、発表することができる。
4時間	1. 単元 Lesson 4 体調が悪い 「体調を伝える」、「体調を尋ねる」、「指示・アドバイスをする」表現 2. 本時の学習 (1) 目標 体調の悪い人や薬剤師の役を演じ、やり取りをすることができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	「褒める」、「勧める」、「断る」などの表現について学ぶ。
2時間	「希望を述べる」、「理由を述べる」などの表現について学ぶ。
3時間	「共感を述べる」、「残念な気持ちを述べる」などの表現について学ぶ。
4時間	「ルールや手順を順序立てて説明する」などの表現について学ぶ。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法の知識を身に付け、実際のコミュニケーションを通して4技能をバランスよく運用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・幅広い話題について、学習した内容を使って、情報や考えなどを端的にまとめて、かつ詳細に伝えようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に学習した内容を用いてコミュニケーションを図るとともに、他者に配慮して自分の意見や考えを表現しようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語 (学校設定科目)	英語探究	1単位	3	2	東京書籍 Power On English Communication I	

学習の目標
基礎的な英語4技能（読む・聞く・書く・話す）について、活用しながら身に付け、主体的に英語を学ぼうと

する意欲を高め、自ら楽しんで英語学習をしていこうとする態度を育てることを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	be 動詞、一般動詞の過去形、過去進行形の文について。
第2回	to 不定詞、比較、最上級の文について。
第3回	動名詞、関係代名詞、関係副詞の文について

面接指導	学習内容
1時間	be 動詞、一般動詞、過去進行形について。
2時間	to 不定詞、比較、動名詞について。

メディア視聴	学習内容
1時間	過去形、過去進行形、to 不定詞について。
2時間	比較、最上級、動名詞について。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	話す、書くなどのやり取りを通して、一定の支援を活用しながら必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	一定の支援を活用しながら日常の会話や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
家庭	家庭基礎	2単位	6	2	東京書籍 家庭基礎 自立・共存・創造	

学習の目標
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
------	------

第1回	<p>「生涯を見通す」 人生は展望する・目標を持って生きる</p> <p>「人生をつくる」 人生をつくる・家族、家庭を見つめる・これからの家庭生活と社会</p>
第2回	<p>「子どもと共に育つ」 命を育む・子どもの育つ力を知る・子どもと関わる・これからの保育環境</p> <p>「超高齢社会を共に生きる」 超高齢社会、大衆長寿社会の到来・高齢期の心身の特徴・これからの超高齢社会</p>
第3回	<p>「共に生き、共に支える」 私たちの生活と福祉・社会保障の考え方・共に生きる</p> <p>「食生活をつくる」 食生活の課題について考える・食事と栄養、食品の選択と安全・生涯の健康を見通した食事計画・調理の基礎</p>
第4回	<p>「食生活をつくる」 食生活の文化と知恵・これからの食生活</p> <p>「衣生活をつくる」 被服の役割を考える・被服を入手する・被服を管理する・衣生活の文化と知恵・これからの衣生活</p>
第5回	<p>「住生活をつくる」 住生活の変遷と住居の機能・安全で快適な住生活の計画・住生活の文化と知恵・これからの住生活</p>
第6回	<p>「経済生活を営む」 情報の収集、比較と意思決定・購入、支払いのルールと方法・消費者の権利と責任・生涯の経済生活を見通す・これからの経済生活</p> <p>「持続可能な生活を営む」 持続可能な社会を目指して</p> <p>「これからの生活を創造する」 生活をデザインする</p> <p>「第1回～第6回のまとめ」</p>

面接指導	学習内容
1時間	<p>1. 「超高齢社会を共に生きる」 これからの超高齢社会</p> <p>2. 本時の学習</p> <p>(1) 目標</p> <p>高齢者の自立を支えるために私たちには何ができるか、適切な支援の方法や関わり方を考えることができる。そして、超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動することができる。</p>
2時間	<p>1. 「経済生活を営む」</p> <p>2. 本時の学習</p>

	(1) 目標 自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解できる。
--	---

メディア視聴	学習内容
1 時間	(1) 人生をつくる 家族・家庭について 家庭生活について
2 時間	(2) 食生活をつくる 食事の意義について 食生活の変化について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・人の一生と家族、および福祉などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身に付け、実践しようとしている。
思考・判断・表現	・普段の生活から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想、実践しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	・様々な人々と共同し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上をはかり、実践しようとする態度が見られる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
情報	情報 I	2 単位	6	2	東京書籍 新編情報 I	

学習の目標
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	・情報とメディアの特徴について ・問題解決の流れと発想法を学び、学びにつなげる

	・情報モラル、情報技術の発展を理解する
第2回	・画像や動画のデジタル表現 ・ネットコミュニケーションについて ・情報デザインについて知識を深める
第3回	・コンピュータの構成 ・演算の仕組み、応用問題 ・プログラムとシミュレーション
第4回	・ネットワークとインターネットについて ・情報セキュリティ ・データ分析について
第5回	・情報社会におけるさまざまな活動について ・プレゼンテーションについて
第6回	・情報分析ツールについて ・電子メール利用時の注意点 ・さまざまな事柄について

面接指導	学習内容
1時間	情報モラルについて
2時間	演算の仕組みについて

メディア視聴	学習内容
1時間	情報とメディアの特性・個人情報・著作権について
2時間	コンピュータとはなにか。ソフトウェア・演算の仕組み。プログラムの基本構造

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・情報と情報技術に関する基本的な知識と技能を身につけることができる。
思考・判断・表現	・様々な事象を情報と結び付けて考察し、問題の発見・解決に向けて効果的な情報活用をすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、望ましい情報社会を構築するために情報社会に主体的に参画しようとするすることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
総合的な 探究の時間	総合的な 探究の時間 1	1 単位	3	1	株式会社 SRJ FUTURE	

学習の目標						
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目標とする。その上で、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析して、まとめ、表現することができるようにする。						

添削指導	学習内容					
第 1 回	大人気のピザ（探究）					
第 2 回	もし電気がつかえなくなったら（探究）					
第 3 回	探究を体験してみよう					

面接指導	学習内容					
1 時間	「多くの人が好きなピザ・大人気のピザ」に欠かせないポイントを 5 つ考える。					

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が生活している地域には、見過ごされている魅力が多い。その魅力を様々な手段を使って自分の力で見つけることができる。 他者と協力し、情報を共有することで、他者の考え方を理解するとともに、幅広い知識を得ることができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 複雑な問題状況の中から適切に課題を設定できる。 仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案できる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 自分の意志で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全 3 回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 1 単位時間以上出席することが必要。

◆令和 7 年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
総合的な 探究の時間	総合的な 探究の時間 2	1 単位	3	1	株式会社 SRJ FUTURE	

学習の目標	
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目標とする。その上で、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析して、まとめ、表現することができるようにする。	

面接指導	学習内容
1時間	ポスターのアピールポイントを「動物」「施設」「スタッフ」の3つの「内容面」をそれぞれについて考えてみよう。

メディア視聴	学習内容
1時間	おにぎりをバラバラにしよう。
2時間	動物園の宣伝ポスターをつくろう。
3時間	やりたい仕事の本質に迫ろう！

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活している地域と本校のある柏崎の魅力を比較し、共通点や違いを見つけ出す。 地域を本校のある柏崎に絞り、地域の抱えた課題を見つけ出す。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて手段を選択し、情報を収集できる 必要な情報を収集し、類別して蓄積できる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考え方を受け入れ、尊重しようとしている。 自他のよさを認め、お互いの特徴を生かし、強度いして解決に向けた探究的な活動に取り組もうとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間3	1単位	3	1	株式会社SRJ FUTURE	

学習の目標	
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目標とする。その上で、自分で課題を	

立て、情報を集め、整理分析して、まとめ、表現することができるようにする。

面接指導	学習内容
1時間	集団での活動がスムーズに進むよう舵取りを行うことをトレーニングしよう

メディア視聴	学習内容
1時間	レジの前のチャンスを逃すな！
2時間	新設するなら〇〇レーン
3時間	ファシリテータートレーニング

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で収集したものと、既存の資料を分析し、課題解決を探り、提案することができる。 ・将来目指す自分の進路（職業）と地域との関連を探り「地域貢献」できるテーマについて、論理的に文章化することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。 ・国語科や外国語科、情報科等で身につけた技能を活用して表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 ・探究的な活動を通して、自己の在り方生き方を考えながら、社会の形成者としての自覚をもって社会に参画し、理想の社会を実現しようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
体験学習 (学校設定科目)	体験学習 I	1単位	1	1	日本文教出版 工芸 I	

学習の目標

SDGzの観点「作る責任、使う責任」の視点に立ち、設定した体験学習を通して、生徒一人ひとりの気づきを共有し、他者の教えを尊重する気持ちを養い、感じた気づきや学びを生徒一人ひとりの豊かな人格形成につなげていくことを目標とする。また地域講師の方々との交流も行い、地域理解も深める。

添削指導	学習内容
------	------

第1回	今までに行ったことのある体験活動を振り返ろう
-----	------------------------

面接指導	学習内容
1時間	クラフトキット制作

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	できるようになったことを明確につかみ、自己の変容や成長を実感し、学習意欲の向上に結び付けることができているか、自己評価と他者評価により客観的に相互評価を行う。
思考・判断・表現	生徒一人一人のよさや可能性、努力の様子などを踏まえて、製作物に寄せた生徒の興味・関心、目の付けどころ、発想や気付きなど、こだわりや学びの過程を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	報告課題などの学習成果物の状況と、学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全1回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
体験学習 (学校設定科目)	体験学習Ⅱ	2単位	2	2	日本文教出版 工芸Ⅰ	

学習の目標	
SDGzの観点「作る責任、使う責任」の視点に立ち、設定した体験学習を通して、生徒一人ひとりの気づきを共有し、他者の教えを尊重する気持ちを養い、感じた気づきや学びを生徒一人ひとりの豊かな人格形成につなげていくことを目標とする。また地域講師の方々との交流も行い、地域理解も深める。	
添削指導	学習内容
第1回	今までに行ったことのある体験活動を振り返ろう
第2回	体験学習の振り返りから、新たな気づきや発見を今後の生活に生かすために考えよう

面接指導	学習内容
1時間	クラフトキット制作
2時間	SDGについて学ぶ

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	できるようになったことを明確につかみ、自己の変容や成長を実感し、学習意欲の向上に結び付けることができているか、自己評価と他者評価により客観的に相互評価を行う。
思考・判断・表現	生徒一人一人のよさや可能性、努力の様子などを踏まえて、製作物に寄せた生徒の興味・関心、目の付けどころ、発想や気付きなど、こだわりや学びの過程を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	報告課題などの学習成果物の状況と、学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全1回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。

◆令和7年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
体験学習 (学校設定科目)	体験学習Ⅲ	2単位	2	2	日本文教出版 工芸Ⅰ	

学習の目標

SDGzの観点「作る責任、使う責任」の視点に立ち、設定した体験学習を通して、生徒一人ひとりの気づきを共有し、他者の教えを尊重する気持ちを養い、感じた気づきや学びを生徒一人ひとりの豊かな人格形成につなげていくことを目標とする。また地域講師の方々との交流も行い、地域理解も深める。

添削指導	学習内容
第1回	今まで行ったことのある体験活動
第2回	体験学習の振り返りから、新たな気づきや発見を今後の生活に生かすために考えよう

面接指導	学習内容
1時間	クラフトキット制作
2時間	SDGについて学ぶ

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	できるようになったことを明確につかみ、自己の変容や成長を実感し、学習意欲の向上に結び付けることができているか、自己評価と他者評価により客観的に相互評価を行う。
思考・判断・表現	生徒一人一人のよさや可能性、努力の様子などを踏まえて、製作物に寄せた生徒の興味・関心、目の付けどころ、発想や気付きなど、こだわりや学びの過程を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	報告課題などの学習成果物の状況と、学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全1回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。

5 通信教育連携協力施設

施設名	住所	定員
学校法人明星学苑 明星中学校・高等学校	東京都府中市栄町1-1	60名
学校法人追手門学院 追手門学院中・高等学校	大阪府茨木市太田東芝町1-1	20名

6 サポート施設

施設名	住所	定員
ライトシップ高等学院	新潟県上越市港町1-9-1 直江津港佐渡汽船ターミナル2階	20名

7 学校概要

学 校 名：学校法人 柏専学院 新潟産業大学附属高等学校

理 事 長：阿部 雅明

校 長：藤井 泰昭

創 立：1958年 新潟短期大学附属高等学校設立認可
1987年 新潟産業大学附属高等学校に校名変更
2023年 通信制課程 設置

教育理念：人間力を磨いて主体的自我を確立し、新しい時代感覚を持って社会に貢献する人間を育成する。

教育の目標：自ら学び、自ら考え、自ら行動する自立（自律）した人間を育てる。

教育方針：（全日制）「生徒一人ひとりを大切に」を基本に捉え、「部活で燃えろ！進路で輝け」を合言葉に全国に名高い部活動・進学校を目指す
（通信制）「生徒一人ひとりを大切に」を基本に捉え、自主自律の精神を育み、人間性豊かな好奇心旺盛な生徒を育てる

住 所：新潟県柏崎市大字安田2510番地2

電 話 番 号：0257-24-6644（代表） / 0257-41-6010（通信制課程教務室）